

★川ごみ調査シート (記入済)

よみがえれ、大栗川を楽しむ会

分類項目		数量	備考
■ 容器・包装ごみ			
飲料	○飲料缶(アルミ、スチール)	20	&「缶フタ」2
	○ビン	1	「割れた破片が幾つか」1
	○ペットボトル	10	(うち1本はタバコ吸殻など混入)
	○ペットボトルのキャップのみ	4	&ラベル1
袋	○レジ袋	56	&[かけら・破片]多数
	○プラ袋(レジ袋以外、菓子袋も含め)すべて	243	&[かけら・破片]多数
その他	○飲食系プラ容器(弁当・トレイ・飲料カップなど)すべて	23	&[かけら・破片]多数、「ストロー」2、
	○紙パック・トロ箱、その他の容器包装	13	「紙箱」6、「紙コップ」1、「トロ箱(破片含む)」3、「薬シート」2、「結束バンド」1
	○混在ごみ(複数の容器・包装類をレジ袋等に詰め込んだ不法投棄ごみ)		
■ 産業系ごみ			
	○土のう袋・フレコンバッグ	24	「土のう袋(破片含む)」20、「フレコンバッグ(破片含む)」4
	○ブルーシート・農業用マルチシート	2	「ブルーシート」2
	○鉄パイプ、産業系金属類	5	「金属パイプ(90cm)」1、「鉄筋」3、「ドライバー(大)」1
	○その他	2	「塩ビパイプ(切れ端)」2
■ 製品ごみ			
	○タバコの吸い殻	97	&「箱」4、「ライター」4
	○おもちゃ・靴・CD/DVD・ボールなど	3	「靴底」1、「ボール」2
	○衣類・オムツ・マスク・手袋など	14	「服」3、「マスク」11
	○ビニール傘(普通の傘、傘部品含む)	4	
	○金属製品	5	「ルアー」1、「自転車空気入れの先」1、「リチウムバッテリー」1、「スプーン」1、「ケーブル」1
	○その他	5	「植木鉢」1、「タイヤ(小)」1、「網ネット」3、「ティッシュ(袋ごと)」1、「ゴムホース」1
■ 粗大ごみ(不法投棄)			
	○自転車・バイク・家具・その他		

◆調査年月日:2023年7月2日(日)

◆調査エリア:霞ヶ関橋～大栗橋(全長:約500m)

◆参加人数:21名(うち子ども3名)

◆可燃系:2袋(450袋)／不燃系:2袋(450袋)

◆特記事項:

陽射しが強い日となり、昨年に引き続き、暑さ対策のために清掃開始を30分早め、清掃中にも手渡しで塩分を渡すなど行いました。また暑くなってきたので浮き袋を持参し、年上の子からサポートを受けながら、川遊びをする子どもの姿も見られました。

参加者は前回に続き二回目の参加が2名、初参加も4名おり、外活動が厳しい季節になってきましたが、会への関心の高さを感じました。

川の水位は前日夜の雨の影響か20センチ程深い状況で、破片も含めて土のう袋やフレコンバックが多く拾われました。また霞ヶ関橋付近はポイ捨てごみが多く拾われる場所ですが、草が生い茂り、ごみを見つけにくい状況でした。

都立大学大学院のY・Sさんから、大栗川活動に関する取材がありました。授業「実習フィールドワーク」の課題に対してです。清掃活動へ参加の後、活動の概要・始めた理由・年月を経て内容や参加者の内訳に変化があるか・地域住民や社会一般に伝えたい事、などを聞かれました。この内容は、大学院の授業で発表する予定とのこと。